

## 昭和 19 年秋に岐阜市上空に火球出現-長良隕石の落下か？

平成 30 年 4 月 2 日に、岐阜県内に住む 90 歳の女性から電話があり、昭和 19 年秋に岐阜市長良上空に火球が出現したという目撃情報が寄せられた。

この女性は当時 16 歳で、家族とともに長良隕石の発見場所に近い岐阜市長良新屋敷に住んでいた。夕刻に長良橋の上空から岐阜市雄総に向かって火の玉が飛んできた。庭先でたらいにお湯をためて足を洗っているときに、家族で目撃したが現在当時の状況を語れるのは自分だけだという。

昭和 19 年に兄がテニアンで戦死したという知らせがあったすぐの出来事であり、10 月下旬か 11 月上旬のことだったと記憶している。母が死んだ兄の魂が帰ってきたものだという手合せだったので、落下時期についてはよく覚えているという。

この女性は、2 個目の長良隕石の発見のニュースをみて、当時の目撃が長良隕石の発見と関係しているのではないかと思い電話した。

岐阜市長良では、これまでに 2 個の隕石が発見されているが、その発見場所は長良橋と岐阜市雄総を結ぶ線上であり、この女性の目撃情報とぴたりと符合する。そうだとすれば、長良隕石の落下は 74 年前の出来事であり、坂内隕石の落下とは独立であることになる。また、まだ隕石があるとすれば、長良橋から雄総にかけてのエリアで見つかる可能性が高い。現在、さらに目撃情報がないか当時の新聞などを調べている。